

第 2 回 北大阪急行線延伸検討委員会の議事要旨

日 時：平成 20 年 11 月 18 日（火） 14：00～16：25

場 所：大阪第一ホテル 6 階 ランスロットの間

内 容： 第 1 回委員会の指摘事項と対応

ミッションについて

整備計画案の検討深度化

運行サービス

需要予測の前提条件

《主な意見》

第 1 回委員会の指摘事項と対応について

- 2 ページ目に単線整備案を追加したことと、3 ページ目の A3 の表で一番右に駅部運用変更による直通案というのがあるが、これを にして検討の深度化をおこなうということにしている。
- 一番右の案（駅部運用変更による直通案）について、この案のみを選択して検討の深度化をする
と決めたわけではない。「ただし運行上の制約がある」などとコメントを入れたほうがいい。
表現を変更する。

ミッションについて

- 9 ページの（6）の大阪圏における都市拠点の中で説明されている「都市拠点」はすでにオーソライズされたコンセプトのようなものがあるのか。
府のマスタープランでは、千里中央から箕面新都心までを大阪北部の都市拠点と位置付けている。
- 今の千里中央の問題としてはバスのターミナルの問題だけではなくて、タクシー、マイカーの乗り入れ、自転車などが過度に集中している。こうした中で、鉄道の延伸が一定の効果を上げると言うことが重要である。千里中央としてもアメニティが高まって都市の魅力が高まり、不動産価値が上昇することも考えられる。
前回整理されていない経済的な波及効果も含めて整理したい。千里中央地区におけるプラスの効果について、ポジティブに表現していきたい。
- （8）をもう少し書き込む必要がある。自動車依存からの脱却ではなくて、コンパクトなまちづくりのためにはまず駅を中心とした土地利用計画などがあって、政策的なものが先にあって、それを実現させるために鉄道が必要という、より計画論的な話だと思われる。
- 戦略的に公共交通指向型のコンパクトなまちづくりとして、鉄道を積極的に位置づけて、それに
応じた土地利用にしていくならわかる。
コンパクトなまちづくりのイメージの表現をもう一度整理する。

整備計画案の検討深度化について

- 高架案の場合、かやのさんぺい橋の高さに合わせて利便性の面から高さを決めているが、建設費の圧縮という観点から見た場合、この案と駅との間のバリアフリーのアクセスを確保し、高架の高さをぎりぎり低くした場合の建設費とどれぐらいの差があるのか

高架案はまちづくり・利便性の観点から高さを決めているが、詰めて経済比較をすれば事業費を抑えることができると思う。次回概算工事費を出すときには整理する。

- 河川管理者との協議によってひっくり返ることがあるので、十分に確認しておかないと建設コストが変わってきたりするので、実際に協議に行つて具体的に議論するほうがよい。
- 折り返し線の部分は分岐の部分だけ入るということは全部確認した上で比較案を作っているのか。2.5パーミル以上の勾配が付いてしまうと、後でできないというようなことにはならないか。

地下案 1・高架案 1 は入ると確認しているが、16ページの比較表にその項目を加え、勾配を設定できるかの可否を明らかにする。

運行サービスについて

- 今回の検討ケースは、会計分離していないため、ランニングコストとイニシャルコストのどちらを重視する方が社会的便益が高くなるかをきちっと書くべきである。
- パターンFは、ピーク時に1時間15本、閑散時1時間に3本しかないのは、あまりにも実現性の乏しい内容になりそうである。事業者としては、需要とサービスの供給を無視して技術のみで運行を決めることはできない。
- 運賃について、償還型と受益活用型という言い方をしているが、受益活用型は「反射損益を相殺するルール」などに表現をあらためるほうがいい。
- 主婦や高齢者の買い物目的などのバスのマーケットが、オフピーク時間帯に残ると思う。その分電車の利用者は減るかもしれないが、交通システムとしては充実している。千里中央行きのバスをゼロにはできないだろう。
- 6ページの「御堂筋線ダイヤに影響を与えない」は「御堂筋線の輸送力に影響を与えない」という表現がいいのではないか。また7ページのパターンBでは検討結果がこの前提条件を無視した書き方になっているが、カッコ内の「実質的に実施不可能」ということを書けばよいのではないか。
- 利用者感覚として梅田に行くのに450円はあまりリーズナブルではない。利用者の感覚を押さえておくべきだ。

周辺の鉄道のキロ当たりの料金を整理する。

その他

- 第3回委員会については2月下旬を予定している。
- ワーキングの状況によって変わるので、具体的な日程等については改めて事務局より連絡する。

以上